

HEALING
GARDEN
ISOGAMI PARK

磯上公園 ヒーリング ガーデン

神戸・三宮の再整備事業として、2024年6月リニューアルオープンの磯上公園。ここに自然に囲まれた癒しの空間「ヒーリングガーデン」が出現。世界的な造園家栗栖宝一氏の想いに共感した神戸市内の造園事業者が集い、本格的な日本庭園の技法を用いた癒しの庭「ヒーリングガーデン」を創りました。

世界的な造園家栗栖宝一が考えるヒーリングガーデンとは

ヒーリングガーデンとは、人と自然が一体となれる場所であり、現代人を取り巻く様々な不安感やあらゆる圧力から解放され、己の内面から湧き上がるエネルギー＝真の癒しを得られる空間です。内面から出てくる心の癒しというのは、その心をまず変えることから始まります。例えば、日本庭園で用いられる飛び石は、自分の足で一歩ずつ踏みしめて歩く行為そのものが、余計なことを考えず自分と向き合うという癒しの時間を与えます。そのようなひとつの動作で心が変わり目で見える景色も変わります。内面から変身することによって自分が変わり、相手も幸せな気分になります。皆さんの心の中が変わり、平和な世界が広がることを多くの方に認識頂ければ、このヒーリングガーデンという空間は大きな力を発揮すると思います。私はこの潜在力を自然の知性＝N.I(Nature's Intelligence)と呼んでおり、磯上公園のヒーリングガーデンをきっかけに神戸からN.I.が広がっていくことを期待しています。



造園家
くりす ほういち
栗栖 宝一

1939年広島県生まれ。早稲田大学文学部卒業。造園家の小形研三氏のもとでランドスケープデザインを学ぶ。その後、渡米し、アメリカ全土で日本庭園をベースとした癒しの庭を作庭。1972年に栗栖インターナショナル株式会社(現・Kurisu LLC)を設立、北米有数の日本庭園専門の造園会社として成長。磯上公園ヒーリングガーデン、設計・施工を全面的に監修。



① 岩との対話

南側玄関から入ると最初にある語りの場。飛び石を渡る中で、徐々に意識を目の前の自然に向け、大きな景石の前に辿り着く。木漏れ日の中で、震災を経験した神戸の歴史を知る岩との対話が始まる。



② 雑木に囲まれた癒しの場

細園路を進んだ先で、椅子に腰掛け周りを眺めると、木々が自分の方を向いていることに気付く。意識が内面に向かい、欲から離れた純粋な自分と出会う機会を与えてくれる。



③ 目で聴き、耳で観る

座って沈黙思考していると、水の音が聞こえる。植栽に囲まれて目では見えないが、向こう側にはたしかに滝が存在し、それを意識する。この体験が、肉眼を通り越した想像（ヴィジョン）を上げる手助けをしてくれる。



④ 自然との語り

風が吹くと竹が揺れる音、水の流れる音が聞こえる。竹の囁き、木々のお話、水の声、黙して語る岩の声。自然と会話できるチャンスは至るところに溢れており、それに気付かせてくれる。



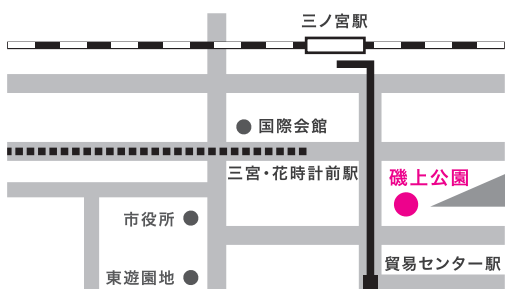
⑤ 出会いの場

滝を眺めていると、自然が自分を包んでくれるという安心感を得て、最後は本当の自分に還る。自然とのコンタクトを通じて自分の心の中にあるものを発見し、受け入れる気持ちにさせてくれる。

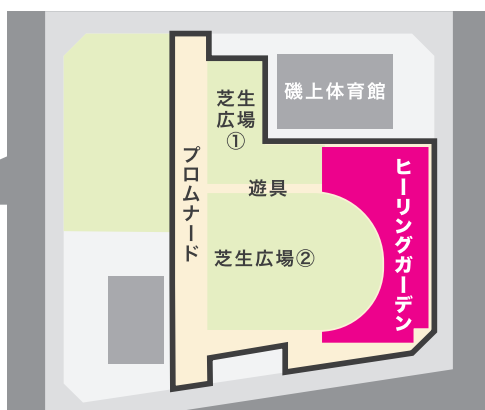


⑥ 滝と池

飛び石は、目の前のことに集中するための重要な仕掛け。注意してひとつずつ踏み締めて進むことで、自然の中にただ純粋な自分がある、という気持ちにさせてくれる。滝の後ろには生命力のある松が垣間見え、生きる神戸の自然を感じることができる。



所在地 〒651-0085神戸市中央区八幡通2丁目1
アクセス 各線三宮より南に徒歩約10分
ポートライナー 貿易センター駅 | 徒歩約3分
地下鉄海岸線 三宮・花時計前駅 | 徒歩約5分



■ 磯上公園再整備事業

整備面積 | 約1.0ha
整備内容 | プロムナード 約130m
芝生広場① 約1,000㎡
芝生広場② 約3,000㎡
遊具 小型遊具3基 健康器具1基
ヒーリングガーデン 約2,000㎡
施工期間 | 2023年9月～2024年6月

■ 磯上公園ヒーリングガーデン

監修 | 栗栖 宝一
施工 | 一般社団法人神戸市造園協会
期間 | 2024年1月～6月

□ 発行 | 神戸市 2024年6月